

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成29年12月28日 (2017.12.28)

【公表番号】特表2017-512120(P2017-512120A)

【公表日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2016-544078(P2016-544078)

【国際特許分類】

B 0 5 D 3/00 (2006.01)

B 0 5 C 11/00 (2006.01)

H 0 5 K 3/34 (2006.01)

B 0 5 C 5/00 (2006.01)

G 0 5 B 11/36 (2006.01)

B 0 5 D 1/26 (2006.01)

【F I】

B 0 5 D 3/00 D

B 0 5 C 11/00 Z A B

H 0 5 K 3/34 5 0 4 C

H 0 5 K 3/34 5 0 5 B

B 0 5 C 5/00 1 0 1

G 0 5 B 11/36 Q

B 0 5 D 1/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月16日 (2017.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体ディスペンサと光学センサとを含む流体ディスペンシングシステムの較正方法であって、

(i) 前記光学センサを用いて外部参照点の位置を得る工程と、

(i i) 前記流体ディスペンサを前記外部参照点まで移動させる工程と、

(i i i) 前記流体ディスペンサで前記外部参照点に流体を投与する工程と、

(i v) 前記光学センサを用いて投与された流体の位置を得る工程と、

(v) 前記外部参照点の位置と前記投与された流体の位置との間の距離を計算する工程と、

(v i) 少なくとも部分的に計算された距離に基づいて訂正值を決定する工程と、

(v i i) 前記訂正值を用いて投与される流体の載置精度を改良する工程と、

を備えたことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記外部参照点は、タイル上に位置決めされており、

前記タイルは、少なくとも 1 つの追加の外部参照点を含んでおり、

前記工程 (i) 乃至 (v i i) は、前記少なくとも 1 つの追加の外部参照点のためにも実施され、

訂正值を決定する工程は、少なくとも部分的に、前記外部参照点の各々に対応する計算

された距離を平均化することによって得られる値に基づく
ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記タイルは、少なくとも 8 個の外部参照点を有している
ことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記外部参照点及び前記投与された流体の各々は、重心を有しており、
距離を計算する前記工程は、更に、前記外部参照点の重心及び前記投与された流体の重心の間の距離を計算する工程を含んでいる
ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記投与される流体は、更に、当該流体の一滴を含んでいる
ことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記工程 (i) 乃至 (v i i) は、制御部によって自動的に実施される
ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記工程 (i) 乃至 (v i i) を、少なくとも 1 回繰り返す工程
を更に備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記計算された距離が上限値より小さくなるまで、前記工程 (i) 乃至 (v i i) を繰り返す工程
を更に備えたことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。